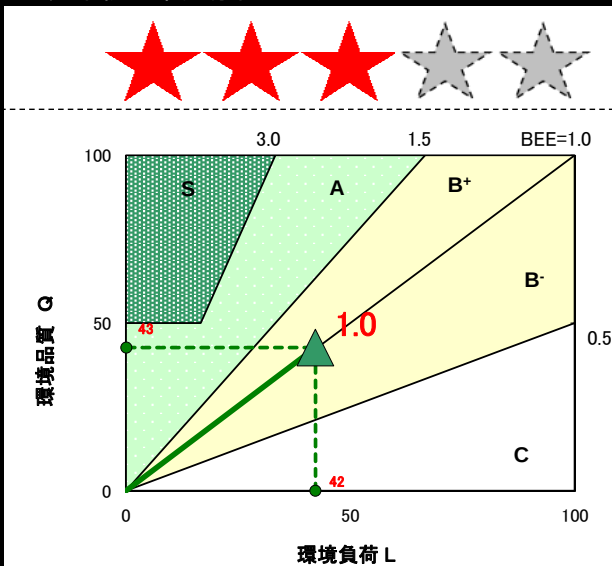


CASBEE® 熊本《新築》【性能表示】

■ 建物概要				■ 外観	
建物名称	託麻社宅跡地 介護施設	階数	地上4F		
建設地	熊本県熊本市東区御領1丁目759-3	構造	S造		
用途地域	市街化区域	平均居住人員	111 人		
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年		
建物用途	事務所,病院,	評価の段階	実施設計段階評価		
竣工年	2022年2月 予定	評価の実施日	2021年4月20日		
敷地面積	2,599 m ²	作成者	東		
建築面積	1,517 m ²	確認日	2021年4月20日		
延床面積	4,078 m ²	確認者	上村		

1 CASBEE評価結果

■ 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



BEE = 1.0

$$\text{BEE (環境効率)} = \frac{Q (\text{環境品質})}{L (\text{環境負荷})}$$

■ 環境効率評価基準

ランク	ランク表示	評価	判定値	
			BEE値	Q値
S	★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上
A	★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—
B+	★★★	良い	1.0以上1.5未満	—
B-	★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—
C	★	劣る	0.5未満	—

■ ライフサイクルCO₂ 排出性能評価基準

判定値 (排出率)	ランク表示
30%以下	★★★★★★
30%超60%以下	★★★★★
60%超80%以下	★★★★
80%超100%以下	★★★
100%超	★

■ ライフサイクルCO₂排出性能(ランク表示)



排出率

87%

2 熊本県重点評価結果

■ 重点事項総合評価

			78
	評価点	■熊本県重点評価基準	
【重点事項1】 温室効果ガス排出量削減の推進	82.7	判定値(評価点)	ランク表示
【重点事項2】 安全安心で暮らしやすい社会の実現	65.0	100点以上	
【重点事項3】 県の地域資源の有効活用と保全	82.5	80点以上100点未満	
【重点事項4】 循環型社会の実現	76.5	60点以上80点未満	
		40点以上60点未満	
		40点未満	
※評価点は、100点以上が推奨です。			

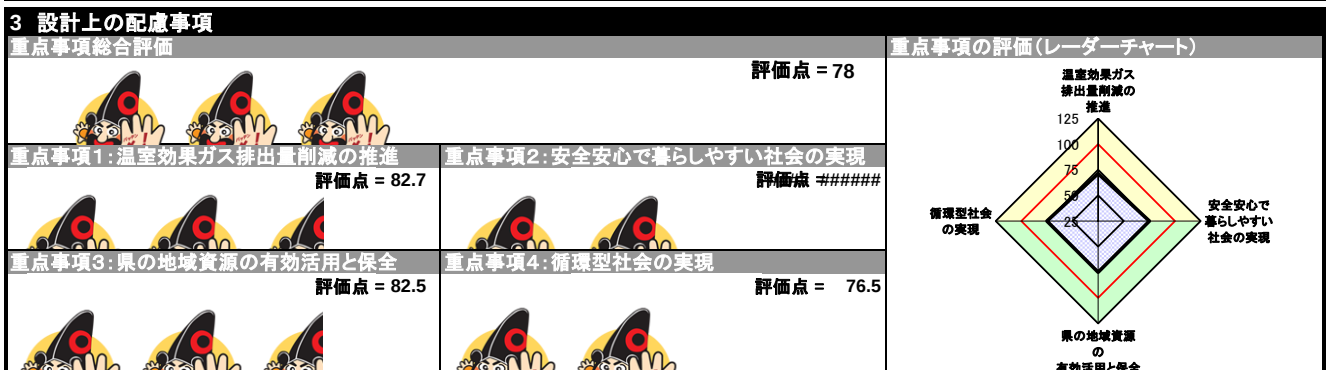
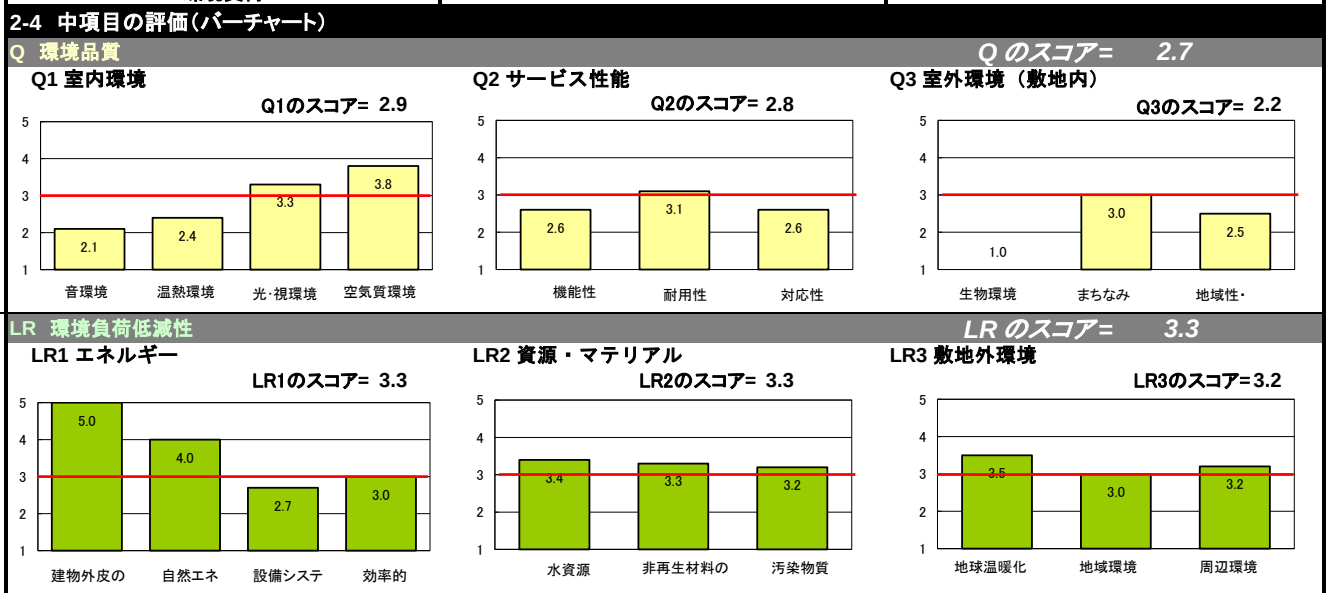
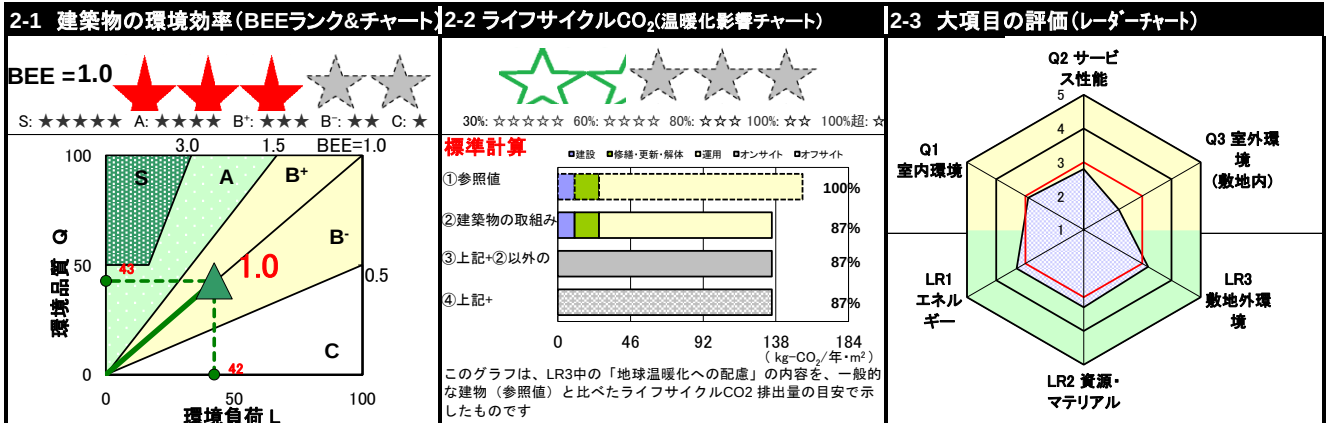
※評価点は、100点以上が推奨です。

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	託麻社宅跡地 介護施設	階数	地上4F
建設地	熊本県熊本市東区御領1丁目759-3	構造	S造
用途地域	市街化区域	平均居住人員	111 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、病院、	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年2月 予定	評価の実施日	2021年4月20日
敷地面積	2,599 m ²	作成者	東
建築面積	1,517 m ²	確認日	2021年4月20日
延床面積	4,078 m ²	確認者	上村



■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版
託麻社宅跡地 介護施設

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版

欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

スコアシート		実施設計段階						
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質								2.7
Q1 室内環境					0.40		-	2.9
1 音環境				2.1	0.15	2.2	1.00	2.1
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.40	3.0	0.40	
1.2 遮音				1.8	0.40	2.0	0.40	
1 開口部遮音性能				3.0	0.41	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能				1.0	0.59	1.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	1.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	3.0	0.20	
1.3 吸音				1.0	0.20	1.0	0.20	
2 温熱環境				2.4	0.35	2.4	1.00	2.4
2.1 室温制御				3.0	0.50	3.0	0.50	
1 室温				3.0	0.38	3.0	0.57	
2 外皮性能				3.0	0.25	3.0	0.43	
3 ゾーン別制御性				3.0	0.38	-	-	
2.2 湿度制御				3.0	0.20	3.0	0.20	
2.3 空調方式				1.0	0.30	1.0	0.30	
3 光・視環境				3.3	0.25	3.3	1.00	
3.1 屋光利用				4.2	0.30	4.2	0.30	
1 屋光率		(共用部)診察室:9.35%、待合室8.31% (宿泊部)2.85%		5.0	0.60	5.0	0.60	
2 方位別開口				-	-	-	-	
3 屋光利用設備				3.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 グレア対策				3.0	0.30	3.0	0.30	
1 屋光制御				3.0	1.00	3.0	1.00	
3.3 照度				3.0	0.15	3.0	0.15	
3.4 照明制御				3.0	0.25	3.0	0.25	
4 空気質環境				3.9	0.25	3.7	1.00	3.8
4.1 発生源対策				4.0	0.50	4.0	0.63	
1 化学汚染物質		F☆☆☆☆の積極的な採用		4.0	1.00	4.0	1.00	
4.2 換気				3.0	0.30	3.3	0.38	
1 換気量				3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能		0.082(1/15以上)		-	-	4.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理				5.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視				-	-	-	-	
2 喫煙の制御		建物全体が禁煙、喫煙室なし		5.0	1.00	-	-	
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	2.8
1 機能性				2.5	0.40	3.2	1.00	2.6
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	4.0	0.60	
1 広さ・収納性		個室:13.03㎡/床		5.0	0.03	4.0	1.00	
2 高度情報通信設備対応				-	-	-	-	
3 バリアフリー計画				3.0	0.97	-	-	
1.2 心理性・快適性				1.0	0.30	2.0	0.40	
1 広さ感・景観				-	-	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース				-	-	-	-	
3 内装計画				1.0	1.00	1.0	0.50	
1.3 維持管理				3.5	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		①②③⑥イージーメンテナンス⑤風除室間距離:4.825m⑩亜鉛メッキ		4.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性				3.1	0.30	-	-	3.1
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数				3.5	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上材の補修必要間隔				3.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上材の更新必要間隔		モルタル下地(20年)		4.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		上位2種にB以上を使用、Eは不使用		5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性				2.8	0.20	-	-	
1 空調・換気設備				3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備				3.0	0.20	-	-	
3 電気設備				3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法				3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備				2.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性			2.7	0.30	2.3	1.00	2.6
3.1 空間のゆとり			2.8	0.30	1.6	0.50	
	1 階高のゆとり		2.0	0.60	2.0	0.60	
	2 空間の形状・自由さ	(共用部)比率:0.19 (宿泊部)比率:1.29	4.0	0.40	1.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			2.6	0.40	-	-	
	1 空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
	2 給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
	3 電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
	4 通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
	5 設備機器の更新性		1.0	0.20	-	-	
	6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.2
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.3
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.3
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI _m =0.71	5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用		トップライト	4.0	0.10	-	-	4.0
3 設備システムの高効率化		[BEI]/[BEI _m] = 0.85	2.7	0.50	-	-	2.7
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価		3.0	1.00	-	-	
	4.1 モニタリング		3.0	0.50	-	-	
	4.2 運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
	集合住宅の評価		-	-	-	-	
	4.1 モニタリング		-	-	-	-	
	4.2 運用管理体制		-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.3
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
	1.1 節水	節水コマ、節水型機器	4.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
	1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
	2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.3	0.60	-	-	3.3
	2.1 材料使用量の削減		2.0	0.10	-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20	-	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20	-	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.10	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	軽量鉄骨下地	5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.2	0.20	-	-	3.2
	3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避		3.3	0.70	-	-	
	1 消火剤	対象外(消火器)	4.0	0.33	-	-	
	2 発泡剤(断熱材等)		3.0	0.33	-	-	
	3 冷媒		3.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.2
1 地球温暖化への配慮		LCCO ₂ 排出率:88%	3.5	0.33	-	-	3.5
2 地域環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
	2.1 大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
	1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
	2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
	3 交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
	4 廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
	1 騒音		3.0	1.00	-	-	
	2 振動		-	-	-	-	
	3 悪臭		-	-	-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制		3.0	0.40	-	-	
	1 風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
	2 砂塵の抑制		-	-	-	-	
	3 日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
	3.3 光害の抑制		4.4	0.20	-	-	
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害対策ガイドライン、広告物照明の取扱いの過半を満足	5.0	0.70	-	-	
	2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	

CASBEE® 熊本《新築》【配慮事項】

4 設計上の配慮事項

総合

周囲の景観に調和した色彩を採用して、突出しないまちづくりに配慮した。

Q1 室内環境

居室の窓を大きくし、通風・採光の確保に努め、快適な住空間を目標とした。

居室のサッシは遮熱性の向上をはげ、遮音等級T-2以上を採用した。

使用建材はF☆☆☆☆製品とし、化学物質汚染被害を防止する。

Q2 サービス性能

将来の更新を想定し、全室ビニールクロスを採用。

階高を十分に確保し、設備機器等の更新に備える。

水廻りは耐水性素材で清掃しやすい仕上材とした。

Q3 室外環境（敷地内）

外壁材の彩度を落としたデザインとし、周囲への太陽光の反射や
グレアの軽減を図る。

LR1 エネルギー

空調機器は高効率のものを採用した。

LR2 資源・マテリアル

再生材を出来るだけ採用した。

LR3 敷地外環境

道路面から直接駐車場へ乗入れでき、車寄せも道路と並行に設ける事により、
スムーズに乗降できるよう配慮した。

その他

熊本県重点評価結果スコアシート

実施設計段階

建物名称 託麻社宅跡地 介護施設

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

■使用評価マニュアル: CASBEE熊本《新築》2017年版

★熊本県重点評価結果				総合評価点		78
重点事項				評価点	重点事項 重み係数	評価配点
重点項目(配慮項目)		スコア	重み 係数			
① 温室効果ガス排出量削減の推進				82.7	0.40	33.08
Q1-2.1.2	外皮性能	3.0	0.05			
Q1-3.1.3	昼光利用設備	3.0	0.05			
Q1-3.2.1	昼光制御	3.0	0.05			
LR1-1	建物外皮の熱負荷抑制	5.0	0.15			
LR1-2	自然エネルギー利用	4.0	0.20			
LR1-3	設備システムの高効率化	2.7	0.30			
LR2-2.1	材料使用量の削減	2.0	0.10			
LR3-2.3.3	交通負荷抑制	3.0	0.10			
② 安全安心で暮らしやすい社会の実現				65	0.20	13.00
Q2-1.1.3	バリアフリー計画	3.0	0.25			
Q2-2.1.1	耐震性	3.0	0.25			
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.15			
Q3-3	地域性・アメニティへの配慮	2.5	0.20			
LR3-2.2	温熱環境悪化の改善	3.0	0.15			
③ 県の地域資源の有効活用と保全				82.5	0.20	16.50
Q3-2	まちなみ・景観への配慮	3.0	0.20			
LR2-1.1	節水	4.0	0.30			
LR2-1.2.1	雨水利用システム導入	3.0	0.20			
LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材	3.0	0.30			
④ 循環型社会の実現				76.5	0.20	15.30
Q2-2.2	部品・部材の耐用年数	3.5	0.30			
Q2-3	対応性・更新性	2.7	0.30			
LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.10			
LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			
LR2-2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			

■評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。

◆総合評価結果

総合評価点 = (各重点事項の評価点 × 各重点事項の重み係数) の総和
 ※重み係数の総和は、「1」であること。

◆各重点事項(①～④の項目)

評価点 = (各重点項目のスコア × 各重点項目の重み係数) の総和 × (5/4) × 20
 ※重み係数の総和は、「1」であること。
 ※(5/4) × 20 : スコア4点を評価点100点に変換するスケーリング定数